女川町 支援活動レポート

2013.10.12～2013.10.13

（東京都港区　みなと区民まつり）

頑張ろう日本！　頑張ろう東北！

平成25年10月25日（金）

東北被災地応援団　白金支部

女川町 支援活動レポート

このたびの東日本大震災により亡くなられた方のご冥福を心からお祈り申し上げるとともに、
被災された皆様に対し心からお見舞い申し上げます。　被災地の一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

1. はじめに

東日本大震災から2年半が過ぎ、震災後の復興の様子が報道されることが少なくなった今も、被災を受けた地域では復興に向けて様々な取り組みが続けられています。 女川町ではこの秋3年ぶりに、秋刀魚の水揚げ時期に合わせて作成していた「おながわ秋刀魚料理マップ」を「女川町観光協会」さんが作成、水揚げシーズンに合わせて町内で配布されるそうです。 町内の和食屋や中華料理店、カフェなどで提供している自慢の秋刀魚料理を紹介、「地元で食べる味は格別。 是非、足を運んでほしい」とPRされています。

東北被災地応援団 白金支部では、昨年に続き「女川町観光協会」として「みなと区民まつり 2013」へブース出店いたしました。 地元で食べる味には敵いませんが、美味しい海の幸で女川町をアピールし、先ずは知っていただくきっかけのお手伝いができればと考えております。

以下、出店の報告になります。

2. 活動報告

（1）概要

◆イベント名

みなと区民まつり 2013

◆日時

2013年10月12日（土） 11:00～17:00
2013年10月13日（日） 10:00～16:00

◆会場

みなと区民まつり　ふるさと物産展会場
（港区役所エリア）

さぁ、「みなと区民まつり 2013」の始まりです！

（2）テーマ

漁師町である女川町の活気そのものを、「女川町観光協会」さんからお借りした大漁旗で表現し、今が旬である秋刀魚を使った美味しいメニューを中心に、秋の香り漂う「みなとまち＝女川町」をテーマにブース作りを行いました。

（3）出店の構成

a.「秋刀魚のすり身バーグ」「女川汁（秋刀魚のすり身汁）」「銀鮭のチャンチャン焼き」「ホルモン」「生ビール」の販売

◆秋刀魚のすり身バーグ：販売目標　各日60個　　計120個
◆女川汁（秋刀魚のすり身汁）：販売目標　各日　100杯　　計200杯
◆銀鮭のチャンチャン焼き：販売目標　各日　30皿　　計60皿
◆ホルモン焼き：販売目標　各日　60皿　　計120皿
◆生ビール：販売目標　各日　100杯　　計200杯

麻布十番納涼祭りでも好評だった「秋刀魚すり身バーグ」や女川町の「秋刀魚収獲祭」でも定番の「女川汁（秋刀魚すり身汁）」に使った、秋刀魚のすり身は、今回も女川町「ワイケイ水産」さんに特注して作成していただきました。 そして新しいメニュー「銀鮭のチャンチャン焼き」に使用した銀鮭は、震災で被害を受けた地域の漁業の復活・支援を目的として、牡鹿半島・女川町の漁業に携わる方々で始められた事業、「株式会社 海の民」さんに発注、3枚におろしていただいて、前日に届けていただきました。

また、いつも私どもの活動を支援してくださっている、大門の名店「ホルモン焼き夏冬」さんのご協力の元、「ホルモン焼き」と「ビール」を販売いたしました。

b.「ホープツリー」販売

デザイナーの青木 大樹さんと、呼び掛けに賛同したアーティストHIRANO.さんとのコラボレーションによって作成された「ホープツリー」。「PEACE・HAPPY・SMILE・LOVE」いろいろな想いを形にすることができるペーパークラフトです。 こちらの収益金は女川町の仮設住宅で暮らす子供達の為の放課後塾、「女川向学館」に寄付させていただきます。

c.「蒲鉾本舗 髙政」さん、「マルキチ阿部商店」さんの物産販売サポート

「蒲鉾本舗 髙政」の高橋さん、「マルキチ阿部商店」の阿部さんが女川町からたくさんの美味しい物産を携えて、出店販売してくださいました。また、女川町のご当地ヒーロー「リアスの戦士　イーガー」のDVDも店頭に並べて販売です。

（4）活動レポート

2013年7月

「みなと区民まつり」の説明会に参加し、必要事項の確認、手続き、備品の申し込みなどを始めました。 また、「蒲鉾本舗 髙政」の高橋さん、「女川町観光協会」の遠藤さんにご協力いただき、準備を進めていきました。 企画書の準備、スタッフの募集なども同時に進めていきます。

10月6日（日） スタッフミーティング

大学生ボランティアの4名を含め、12日（土）は12名、13日（日）は13名のスタッフが参加、全体ミーティングを行いました。 出店の目的、当日の流れを確認した後、ブースの配置なども確認しました。 女川町への訪問活動には参加はできないけれども、東京での活動であれば是非参加したいと、毎回協力してくれるスタッフもいます。 一人でも多くの人が活動に関わりをもち、またそこから人づてに女川町を応援する輪が広がることが私共の願いでもあります。

10月11日（金）

いつもお世話になっている港区白金の尚礼会集会所にて、荷物の受け入れを行いました。 たくさんの商材が次から次へと到着です。また、応援団の資材を預かっていただいている地元のサッカー場や尚礼会倉庫から、必要な道具を運び入れたり、翌日の調理の下ごしらえなども行い、翌日に向けての準備を行いました。

10月12日（土）

7:00

「みなと区民まつり 2013」当日の朝です。 天気は快晴、昼間は気温が上がってくる予報もあり、最高のお祭り日和のようです！

運搬チームは尚礼会集会所に集合、車2台にたくさんの商材を積み込んでお祭り会場に出発です。 会場では、ブース近くの搬入スペースに駐車スペースの確保し、荷物の到着を待ちました。

8:15

集合時間には、応援団の赤いTシャツを着たメンバーが全員そろい、早めに到着した運搬車から降ろした荷物を次々と運び込み、早速ブースの設営に取りかかります。 今年は遠くからも見えるようにより高い位置に幟やポップを取り付けることになり、持込んだ棒を使って高さをだしました。 良い天気なのでビールも売れそうです。 早めにサーバーを設置し、氷をたくさん入れて冷やします。

「女川町観光協会」よりお借りした大漁旗を取り付けると、お祭りのブースがひときわ栄えます。 販売スタッフは配置図を元に、見栄えを考えてポップを取り付けていきました。 一方、調理スタッフは、お湯を沸かしたり、すり身バーグに火を通したりと、調理準備を始めました。打ち合せのときに「ホープツリー」にお絵かきをする宿題をもらっていたスタッフは、作成品を提出。 さまざまに彩られた「ホープツリー」がブース内に飾られていました。 そして、「蒲鉾本舗 髙政」高橋さん、「マルキチ阿部商店」阿部さんも到着。 美味しそうな商品が次々と並べられていきます。

10:45

すすきやもみじが飾られた、秋の女川町のブースが完成です。 後は開始を待つだけです。 周辺のブースも店頭に商品を並べ始め、お客様も増えてきました。 開始時間直前に簡単に全員でミーティング。 2日間の成功を祈って、かけ声をかけて士気を高めます。
「2日間がんばっぺ！！」「オー!」

開始前に一度手を止めて全員で一日の注意事項などを確認

「ホープツリー」はスタッフが作った試作と共に展示

11:00

いよいよお祭りの始まりです。 最初のお客様は「マルキチ阿部商店」さんの「小女子」に目をとめた奥様です。「今ならたっぷりおまけしますよ～」の言葉にうれしそう！即購入です。 味見をして「本当においしいわね！」とご満足いただけたようです。 一人足を止めると、続々と人が集まり始めました。 好調な売り出しです。

今回の「みなと区民まつり」では、ゴミを減らす工夫としてリユース食器の活用を呼びかけています。 私共のブースでも「銀鮭のチャンチャン焼き」と「ホルモン焼き」に使用する平皿、「女川汁」用のお椀をリユース食器にし、その場で美味しく食べていただくことになりました。 リユース食器を使っているブースには、主催側から派遣された学生ボランティアの方がチラシを配って応援してくれます。

気温も高くなり、ビールの売れ行きが好調です。「ビールにホルモンはいかがですか？」「今が旬の女川町の秋刀魚を使った、すり身バーグに女川汁はいかがですか？」 販売スタッフは、ブースの前で呼び込みを始めます。

昼食時間が近くなると、美味しい香りに誘われて、ブースの前には行列ができるほど。 調理スタッフも大忙しです。 思った以上にビールが売れていき、あっという間に目標数に達しそうです。 あわててスタッフがビールの樽を追加注文して取りに行き、事なきを得ました。

また、翌日の商品の受け取りと食材の下ごしらえのため、スタッフの一人が尚礼会に向かいます。 美味しい女川町の食材を美味しく提供するために、下ごしらえは各日ごとにおこないました。

応援団新メニュー「銀鮭のチャンチャン焼き」

最初のお買い上げは「小女子」でした！

おいしそうな蒲鉾が並びます

16:00

終了時間を一時間以上も前にして、調理販売のメニューが完売、「蒲鉾本舗 髙政」さんや「マルキチ阿部商店」さんが用意された商品も早々と完売することができました。

「残念、もう売り切れちゃったの？」というお客様の声。 楽しみにしてくださっていた方がたくさんいたことを感じました。「明日もぜひ来てください！」とお願いし、片付けの開始です。

17:00

撤収の準備が整い、スタッフ数名は一度尚礼会集会所に戻り、洗物や荷物の整理を行いました。 会場に残ったメンバーは、ブースの清掃を行った後、懇親会の会場、ビールとホルモンを提供してくださった「ホルモン焼き夏冬」に移動です。 ご主人の加藤さんに提供してくださった「ホルモン焼き」が完売したことをご報告、尚礼会集会所に向かったスタッフも合流し、女川町からいらした高橋さん、阿部さんを囲んで懇親会を始めます。 前月に女川町で開催された「秋刀魚収獲祭」のお話や、今年の秋刀魚の収獲のお話、高橋さんや阿部さんが関わっていらっしゃる「水産加工研究会」の新しい取り組みなど、様々なお話をお伺いいたしました。

10月13日（日）

7:00

この日も快晴。 前日同様、尚礼会集会所に集まった運搬スタッフは今日の売れ行きも好調であることを期待しながら、早々と荷物を積み、会場に向かいました。 この日は1時間早い開始です。 運搬車が会場に到着次第、設営を順次始めていきました。

8:15

スタッフが集まったところで、全体ミーティングを行いました。 前日の経験を踏まえて、配置換えを行いました。 お客様の目の前で「銀鮭のチャンチャン焼き」や「ホルモン焼き」を焼けるようブース内の並べ方を修正します。 注文受け口を明記し、注文から商品をお渡しするまでをスムーズに行えるよう、役割分担や動きを確認しました。 また、調理でお待たせした場合は、「女川町観光協会」さんに送っていただいた「女川ガイド」を使って女川町を紹介したり、蒲鉾や昆布巻きなどの販売品もお勧めできるよう、改めてシミュレーションを行い流れを確認します。 今年最後の東京での活動、たくさんの方々に女川町の魅力を伝えられるよう、みんなでアイデアを出し合って準備を進めました。

「秋刀魚すり身汁」の下ごしらえです

手分けをして準備を進めます

ブース脇には大漁旗を

10:00

開始時間とともにお客様がいらしてくださいました。「昨日買って、美味しかったからまた来たのよ」など、女川町の商品を実際に購入してくださり、味わってくださった方がまた買いに来てくださることを本当に嬉しく思いました。 美味しさを知っていただくことの重要さを改めて感じます。

前日に続いてのよいお天気で、ビールの売れ行きも好調です。 店頭で焼かれる「銀鮭のチャンチャン焼き」や「ホルモン焼き」に、誘われてたくさんのお客様が並んで購入してくださいました。「女川汁」や「秋刀魚すり身バーグ」も好評、「秋刀魚のすり身は今購入できますか？」と、聞いてくださるお客様もいらっしゃいました。「ワイケイ水産」さんから送っていただいたチラシをお渡しし、すり身の取り寄せはもちろん、旬の秋刀魚の取り寄せも出来ることを説明させていただきました。

14:00

昼を過ぎた頃から、「蒲鉾本舗 髙政」さんの季節限定の蒲鉾や「マルキチ阿部商店」さんの毎回好評の小女子などのいくつかの商品が、早々に売り切れとなっていきます。 目当ての商品が売り切れという方には、インターネットなどでも購入できることをご紹介させていただきました。

昨年もブースを訪れてくださったというお客様の中に、その後も、弊会のホームページをご覧になって、活動のレポートを読んでくださっている方もいらっしゃいました。 そのようなつながりがもてたことを、本当にうれしく感じました。 私たちができることは微々たるものですが、少しでも女川町に興味をもっていただき、人と人をつなげていけたらと思います。

15:00

この日も残り1時間を待たずして調理販売品は全て完売、調理スタッフはできるところから少しずつ後片付けを始めます。 販売スタッフは残りあとわずかとなった「蒲鉾本舗 髙政」さんや「マルキチ阿部商店」さんの商品を宣伝します。「あと残りわずかです！」その声に誘われるようにお客様が立ち寄ってくださり、ほどなくして全ての商品が完売いたしました。

16:00

後片付けもほぼ終わり、全員集合。 女川町からいらしてくださいました、高橋さん、阿部さんに改めてお礼を申し上げ、「みなと区民まつり2013」の出店が無事に終わったことを祝して、全員で一本締めを行い、2日間の活動が無事に終了となりました。

たくさんの方々がブースにいらして下さいました

最後の片付けも終り二日間無事に終えたことを互いにねぎらいました

以上を持ちまして、この度の活動の報告とさせていただきます。

3. 活動を終えて

８月から3回のお祭りを通して、東京港区の方を中心に、女川町のPRを続けてきました。 今回のみなと区民まつりでは、各ブースが大きくスペースに余裕があったこと、ブース前の通りが広く立ち止まってお話を聞いていただく機会があったことなど、お一人お一人に丁寧にお話をすることができました。 また、スタッフも経験を生かし、ブースの内外でそれぞれがお客様に対して、大きな声で呼びかけやご挨拶をすることができました。 大学生の若いパワーに支えられたことも、大きな力になりました。 微力ながら、東京の方に、活気あふれる漁師町女川町を印象づけるお手伝いができたと感じています。 また、「本当に美味しかったので、また買いにきたよ」「これからも応援しているからね」など、女川町に気持ちを向けてくださる言葉をかけていただくことができました。 小さな力ではありますが、これからも引き続き、東京でできる支援活動として、機会をみつけて女川町のPRを続けていきたいと思います。

最後に、今回の出店におきましても「女川町観光協会」の全面協力をいただいたこと、「蒲鉾本舗　髙政」高橋様にご尽力いただきましたことを、心より感謝申し上げます。

4. 今後の活動

◆１１月女川町支援活動

【日程】　11月8日（金）夜～11月10日（日）

【活動内容】

清水地区仮設住宅に再訪です。 秋から冬へと季節がうつりかわると共に、活動も寒い夜から昼間の活動にシフトします。 青空昼食会は東北の秋の風物詩「芋煮会」、子供向けのイベントとして昨年も開催した「NPO法人あにまるに～ず」さんご協力の「ミニ移動動物園」に「なおやマン」さんによるお楽しみ「ワークショップ」を予定しております。 動物達と触れ合ったり、「なおやマン」さんのヘンテコパーティー、「ヘンテコゆめの工場」で皆で遊びませんか？　ご来場、お待ちしております。

5. 補足事項

（1）参加者（敬称略/順不同）

川端　陽子	宮野　貴（上野原・ハート）	平林　真百合	若本　智子
末石　義史	藤原　朗	近藤　尚之	瓜田　創
若本　智子	三上　加寿子	岩澤　美保	稲吉　華那
黒川　涼香	山形　仁紀	倉本　花絵	後藤　奈津子
工藤　史大			

（2）後方支援者（敬称略/順不同）

尚礼会町会	橋本　翔二	加藤　豊	岡本　二美　（品川プリンスホテル）
斉藤　秀朋	小澤　徹	小澤　雅志	

（3）協 力（敬称略/順不同）

女川町観光協会	女川町 蒲鉾本舗 髙政	女川町 マルキチ阿部商店	大門　ホルモン焼き夏冬

（4）主催元

Kissポート財団事業課内　みなと区民まつり実行委員会

皆様からの、あたたかいご支援・ご協力のうえで、成り立っております。
本当にありがとうございました。
私達は、被災地への支援活動を、継続していきます。今後とも、どうぞ宜しくお願いいたします。

平成25年10月25日
東北被災地応援団　白金支部
工藤 史大

★東北被災地応援団　白金支部　WEBサイト★
http://www.onagawa.e-ouen.jp

※このレポート内にあります画像の流用及び転用は、一切禁止します。
Copyright (C) 2012 Tohokuhisaichi-Ouendan All Rights Reserved.